

タイトル 「研究発表 I」

講演者 岩村・須賀・鈴木・青木・林・若山・山室・作地

学校名 相模原城山高等学校



講演テーマまたは研究テーマ 「新校とともに新たな活動を育もう～新時代への挑戦～」

## 1 はじめに

私たち相模原城山高等学校PTAは再編統合前の大切な活動を引き続き継承しつつ、新たな取組みにも挑戦することをテーマに発表いたします。

## 2 学校紹介

県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づき、県立城山高等学校と県立相模原総合高等学校を再編統合し、新たに単位制普通科の「県立相模原城山高等学校」として、令和5（2023）年4月に開校しました。



県立高校指定校事業（令和4年度指定）において、「ICT利活用授業研究推進校」「プログラミング教育研究推進校」の指定を受けており、充実したICT環境に加えて、情報教育に関する専門的な選択科目を活用しながら、情報活用能力の伸長を図っています。また令和6年1月に文部科学省よりDXハイスクールに本校が採択されました。デジタル分野における人材育成の充実を図るべく、様々な取組みを推進しています。



次に新校開校に伴いリニューアルしたものについてご紹介いたします。

### ○校章

相模原城山の頭文字SSを二重に用い、隣接する緑濃き城山と津久井湖を図案化したものです。豊かな自然環境に囲まれながら友愛と地域の絆をつなぎ、右上に広がる空間に向けて大いなる飛躍の可能性を表現しています。

### ○制服

従来の伝統を大切にしながら、より現代的で機能性に優れたデザインになっており、女子の制服はスカートの他に、スラックス・キュロットスカートを選ぶこともできます。



冬服



夏服

### ○校歌

校歌制作にあたり、生徒・保護者・同窓会にアンケートを実施しました。作曲・作詞を元城山高等学校の教諭に依頼し、入学式において有志の生徒・教員の歌唱で完成披露しました。

○校舎をオレンジに

新校開校に合わせて、校舎に明るいオレンジ色を付けてイメージを一新しました。



### 3 PTA紹介

本校のPTAは5つの委員会（安心・安全委員会、環境ふれあい委員会、広報委員会、成人委員会、年次委員会）と本部役員で構成されています。

委員の選出方法は、立候補で募りますが、定員に満たない場合は抽選方式を採用して、各委員会定員7名（各年次ごと）を選出しています。

○ 各委員会の紹介

#### 安心・安全委員会

もっと安心できる生活環境づくり

交通安全指導  
事故の危険性を  
高め！

社会環境健全化  
事件の可能性を  
減せ！

・ 自転車点検

年2回春と秋にステッカーが貼られているかどうかを中心に点検を行っています。

・ 交通安全対策会議に出席した際、良い事例を持ち帰り、学校側と話し合い実現しています。



自転車ステッカー  
令和6年度よりQR  
コード付きに変更  
→→→→



#### SAFETY CARD

もし、事故にあったら！

- 必ず110番へ連絡、ケガをしていたら119番へ連絡
- 自宅と学校 042-782-6565に連絡
- 相手の名前・住所・電話番号・車の色とナンバーを記録
- 警察・救急車が到着するまでは、相手の方と一緒にその場を離れない
- 大丈夫と思っても必ず病院で診察を受ける

落ち着いて行動しよう！ 相模原城山高等学校 PTA

携帯用にSAFETY CARDの配付

・ 文化祭では自転車シミュレーターを実施するとともに、参加した生徒に協力してもらい登下校時のハザードマップを作成しています。

・ 新たな標語、横断幕作成



#### 環境ふれあい委員会

人と自然のふれあう企画の実現

生徒・会員との  
ふれあい活動  
(地域貢献デー等)

心を癒す花壇整備  
相模原城山校内花壇  
ふれあい花壇

・ 校内花壇の整備



学校のご協力により季節の花を植えやすい、綺麗な花壇に生まれ変わりました。



・ふれあい花壇の整備

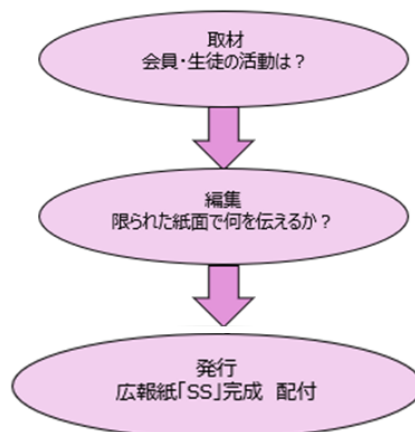
平成17年、当時の学校目標の「ボランティア活動」と「地域交流」の一環である「ふれあい」をテーマに、「ふれあい花壇」として、他校の生徒、地域のロータリークラブや行政の協力のもと、設置されました。



先生方も一緒に色とりどりの200株の花植えを行いました。地域貢献デーには1年次の生徒と花植えを行います。

広報委員会

会報「SS」(エスエス) を媒体とした会員への情報提供

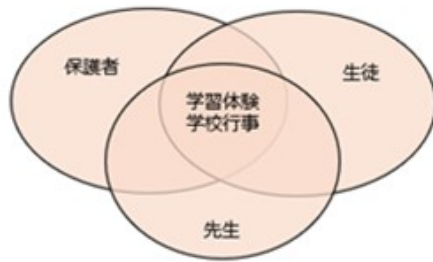


広報紙「SS (エスエス)」

- ・新校開校に伴い、広報紙の名称を「湖城」から「SS (エスエス)」に変更しました。
- ・年2回広報紙の発行  
学校行事、PTA各委員会活動の取材し、新しくなった学校の魅力をたくさんの写真とともに掲載しています。

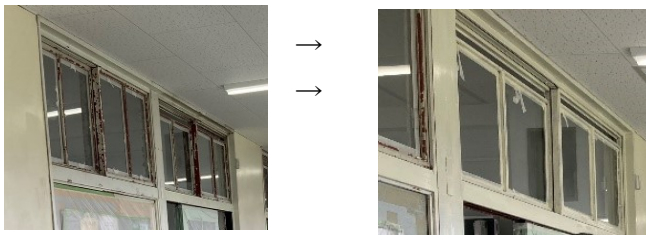
## 成人委員会

会員の心豊かな学習機会の企画・運営



### ・ペンキ塗り

「生徒に綺麗な環境で学校生活を過ごしてもらいたい。」と平成12年頃、当時の校長先生の発案で教員有志による活動から始まりました。のちにPTA事業として定着することとなります。

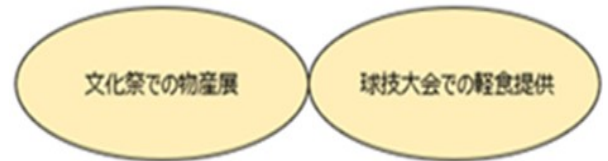


今年度は、9月28日（土）に実施しました。前日準備への参加者を含めると、生徒、保護者、同窓会や教職員を含め、総勢100名を超えました。教室棟5階のワンフロア、教室周りのペンキ塗りを行いました。



## 年次委員会

年次行事に特化



### ・文化祭での物産展

今年度は前例にとらわれることなく、品揃えと数を充実させ、生徒はもちろんのこと、来校者のみなさまにも大好評でした。

開校初年度から3年次生徒による模擬店においてキャッシュレス決済を導入しました。

今年度から新たにPTAの物産展においても導入し、完全キャッシュレスとなりました。



### ・球技大会軽食提供

コロナ禍前は1000人分の豚汁を提供するにあたり、前日、担当委員が食材を持ち帰り、仕込み準備をして当日調理し、提供しておりました。しかし衛生面等が課題となり、昨年度は地元企業（せき麺）さんの協力を得て、ケータリングサービスに切り替えました。

#### 4 まとめ

時代の流れとともに、生徒、保護者、教職員、それぞれの立場で考えに大きな変化が生じていますが、「何のためのPTA活動なのか？」

その答えは、「学校に通う生徒のため！」

「今、何が必要なのか？」「それはなぜ必要なのか？」継承すべきものは継続し、前例にとらわれず事業として見直すべきものは見直す、新たな取組みにもチャレンジしていきたい！保護者の考えを押し付けるのではなく、生徒が望むことを可能な限り実現してあげたい。他校ではすでに実施されている「生徒会とPTAとの懇談会」、相模原城山高校では今年度初めて実施する予定です。

「生徒が望むことは何なのか？」生徒の想いを汲み取り、教職員に大きな負担をかけずにできることをやる！

私たち相模原城山高校PTAは、そのような想いを胸にこれからも挑戦し続けていきます！